

'13.5

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南 岩男
発行住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261㈹ 〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安 平一 志
印刷所 有限公司 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第669号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成25年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲前列中央が社長の松田良彦氏。向かって左は長男 良介氏、右は三男 佑介氏。

Contents

■県連会Letter 2~3頁

- ・県連理事会・臨時総会
- ・県女性連正副会長・常任理事会
- ・経営支援研修会(専門)
- ・人事管理委員会

■あなたのまちの元気な企業(上郡町) 4頁

■商工会Letter 5頁

- ・わくわくゲーム「そろたん」……(丹波市)
- ・コラム「ひょうご支援の扉」

■平成25年度の人事異動について 6頁

ナニワフード株式会社は、現社長松田良彦氏の実家が大阪で昆布屋を営んでいたこともあり、「自分の技術を活かして『商い』をやりたい。そしてそれを子や孫の代までも伝えに行きたい」という思いで創業した。自然と水に恵まれたここ上郡の地へ移り住んで事業を始めたのは、昭和59年。家業の経験を活かした「昆布茶」を中心に「くず湯」や「しょうが湯」「ぶりかけ」等々、厳選素材による食品を幅広く手掛けている。創業から約30年、社長が一貫してこだわってきたのは、とにかく「うまいものをつくる」こと。これらの商品は、北は東北地方から南は沖縄まで、幅広く400店舗に卸しております。全国を営業で飛び回る専務の松田良介氏はじめ、3人のご子息とともにこの「うまいものづくり」に日夜励んでいます。(詳細は4頁)

ナニワフード株式会社

(上郡町)

自然豊かな町で歩んできた30年

企業を再生させる経営改善計画の策定能力を高める

経営支援研修会（専門）

県連合会は、3月18日・19日に、福崎町・中小企業大学校で経営支援研修会（専門）を両日で延べ30名の参加者により開催した。

本研修は、中小企業金融円滑化法が平成25年3月31日に終了することに伴い、中小企業の資金繰りが非常に厳しくなる状況が予想される中、職員が会員企業の支援に必要となる金融に対する知識や財務分析能力のスキルを高めることを目的に開催した。

講師には、近畿経済産業局中小企業ネットワーク強化事業上級アドバイザー・松本茂樹氏を招き、初日に「金融リテラシーに対する考え方」についての説明を受けた。続いて、金融審査マニュアルの事例をもとにグループワークを実施。参加者全員が金融機関になりきり、自己査定を実施した審査ポイントについて発表した。

2日目には、「実現可能性の高

藤主査により、「実現可能性の高

い」と、松本上級アドバイザーから講評があった。



▲発表を熱心に聞き入る参加者たち

い経営革新計画とは」と題し、経営革新計画を審査する側としての審査ポイントについての説明を受けた。

続いて、松本上級アドバイザーから「財務分析」「経営改善計画」について説明があり、その後、ケーススタディを実施し、グループ毎に経営改善計画を発表した。

参加者は、この研修会を通して、企業を再生させるための経営改善計画策定には、融資や金融商品の知識はもとより、それを活用できる能力が必要となることと、金融機関の融資判断基準について学ぶことができた。

参加者の感想
多様な切り口で改善策を検討することができた。融資制度等新年度に向けて良い情報が得られて良かった。今後も、タイムリーな情報提供を含めた研修を企画して欲しい。

有利
掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単
社外積立て管理もラクラク
掛金試算額などをお知らせします。

安全
国の制度だから安心
掛け金の一部を国が助成します。

中退共
CHU-TAI-KYO

退職金は直接退職者に支払われます。
お近くの金融機関等の窓口でお申込みください。

パートタイマーさんも家族従業員も加入できます。

掛け金は、従業員ごとに16種類から選択できます。
転職先でも引き継げる「通算制度」があります。

「よし、やるぞ！」の一体感。
働く人が元気な会社。中退共が応援します。

詳しくはホームページをご覧ください。 中退共 検索

お気軽にお問合せください

(独)労働者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

Tel. 03-6907-1234 FAX. 03-5955-8211

人事管理委員会を開催

経営革新計画に取り組む事が生き残り策としてベストであると、松本上級アドバイザーから講評があった。

今回は、研修の中で兵庫県信用保証協会の「経営力強化保証」と、日本政策金融公庫の「経営と一体になった融資制度」について制度説明を受けた。

県連合会は、3月1日、県商工会館において第2回人事管理委員会を開催した。

当日の協議事項は次のとおり。

- 一、「職員再雇用規程」の一部改正について
- 二、「職員給与規程」の一部改正について
- 三、退職金共済の平成24年度特別掛金基準率の決定について
- 四、平成25年度人事異動計画（案）について

このうち、協議事項四では、この度の人事異動の反省点を踏まえ、26年度の人事異動については、早い時期から各商工会長と個別面談を実施し、県連合会で原案を作成して調整していくことを決定した。

また、これらの協議事項の内、一、二については、3月26日開催の理事会において、審議・可決された。

この度の人事異動につい



▲坂越漁港の新鮮ないかなご(右)



▲できたてホヤホヤの釣煮



▲家庭の味が伝わる製造風景

「大切に、いいものをつくっていくことが使命」
今後の展開

一環として、本年度に商品化が予定される上郡町産モロヘイヤは、商工会による特産品づくりの一環として、たまたま女性社員さんからいただいた家庭の味に、社長が大変感動したこと。この釣煮を手掛けるようになつたきっかけは、たまたま女性社員さんからいただいた家庭の味に、社長が大変感動したから。

この釣煮を手掛けるようになつたきっかけは、たまたま女性社員さんからいただいた家庭の味に、社長が大変感動したから。

取材の日は、「いかなご釣煮」づくりの真最中であり、製造現場にも案内していただいた。この釣煮も、同社こだわりの逸品、かつ主力商品である。赤穂の坂越漁港に水揚げされた新鮮な「いかなご」は、45分後には同社工場の鍋の中で煮立つている。その日仕入れた新鮮ないかなごだけを使い、化学添加物は一切使用せず、冷凍保存も行わないとのこと。

この釣煮を手掛けるようになつたきっかけは、たまたま女性社員さんからいただいた家庭の味に、社長が大変感動したから。

安心・安全 こだわりの製法
水揚げ後、45分で鍋の中へ

水揚げ後、45分で鍋の中へ

ナニワフード株式会社（上郡町）

・あなたのまちの元気な企業・
真のうまいもの作りに力を注ぐ

一列に並んだ鍋を女性従業員の皆さんが熟練の手つきで一つひとつ返す様子は、大手工場ののような生産性や効率化には無縁かもしれないが、あくまで家庭の味にこだわり、かつ「うまいもの」を作るには、社長自身どうしても譲れない点である。

主力の「くず湯」は、昭和天皇が床に臥された折に口にされていたという話から、また「じょうが湯」は昔、社長のおじいさんやおばあさんが、風邪を引くと湯のみに生姜をひたして口にしていたことから手掛けられるようになったと言う。だから、これらに共通するキーワードは、「家庭の味」とともに「健康」。それをさらに美味しく、飲みやすく商品化したのが現在の製品である。



▲主力商品である「くず湯」や「黒潮昆布茶」など

おいしい
ものを
広めたい

「いいものはうまいもの。良い技術は良い商品（もの）を作る」と専務。うまいものにチャレンジし続ける同社は、健康面にも配慮された商品が多い。

一方、同社は商工会とのつながりも深い。衰退する地域経済の中で、自主的な取組みによって企業の元気アップを図ろうと、法人部会の中心的メンバーでもある。

社長と専務が商工会に期待するのは、行政と会員事業所、農協はじめ生産者、専門家などを繋ぐ橋渡し的存在。それが、例えば地元資源を活用した商品開発などに有効だと語る。

真のうまいものづくりのため、自然豊かなまち・上郡町で頑張る同社の活躍に今後ますます目が離せない。

【企業概要】

企 業 名／ナニワフード株式会社
代 表 者／代表取締役社長 松田良彦
創 営／昭和59年1月
営 業 時 間／9:00~17:00
定 休 日／土、日、祝祭日
所 在 地／〒678-1262 上郡町岩木甲139-18
電 話／0791-52-0362
F A X／0791-52-3516

法律の改正により平成26年1月から 個人で事業や不動産貸付等を行う全ての方は 記帳と帳簿等の保存が 必要になります!!

白色申告者必見!!



記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) に掲載されていますので、ご覧ください。

詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。



わくわくゲーム「そろたん」

一丹波市商工会アイデア発明委員会会長

丹波市商工会アイデア発明委員会（安田邦幸委員長）が、枠の中にボールを投げ入れ、五目並べの要領で遊ぶゲーム、わくわくゲーム「そろたん」を考案、商品化した。

「そろたん」は、丹波弁で「そろう」「並んだ」という意味。そこに丹波市の「丹」をかけ、「そろたん」と名付けた。

現在は、市内の介護施設や教育施設を訪問し、老若男女まで楽しめるゲームとして紹介している。

商品デザインを保護する意匠登録の出願も済ませており、今後は、全国展開を目指して丹波市の「ニューゲーム」を販売する予定。

遊び方は、1メートルほど離れた所から椅子に座ったまま順番に柔らかい20個のボールを投げ入れ、縦横斜めに列を作っていく。ボールが柔らかいので、ねらった所にはなかなか入らない。軽い運動のレクリエーションゲームと、遊び方を見つけだし得点を集計する脳のトレーニングの要素を備える。

加東市商工会では、平成24年度から経営革新計画承認支援に積極的に取り組んでいる。

昨春、片岡先生（㈱タイム代表取締役）との出会いをきっかけに、経営革新計画承認支援プログラムが動き始めた。

職員（経営指導員・補助員）は、セミナーに同席し、申請書の作成から審査会のヒアリングまで二人三脚でサポートした。その結果、24年度は19件の承認を受け、担当した9人の職員は全員が承認を経験することことができた。

私は担当した一社は、市内で自転車小売修理業を営む「藤原サイクル」。販売台数減少や価格競争など、現在直面している経営課題に対するアイ



職員の協働による経営革新計画の承認支援

加東市商工会 柳 隆之

経営革新テーマ設定から申請書作成までは比較的スムーズに進んだが、いざ申請書を持参した時は、革新性が弱く承認が難しい状況であった。

その後、訂正案について再三協議したが、結論が出ず、とうとう行き詰ってしまった。

巡回訪問する足取りも次第に重くなった。しかし、昼夜を問わず対話を重ねるうちに事業主の発言からある重要なキーワードを引き出すことに成功した。それをもとに申請書を訂正、審査会を経て見事承認までたどり着くことができました。

コラム

ひょうご支援の扉

人の職員は全員が承認を経験することことができた。

私が担当した一社は、市内で自転車小売修理業を営む「藤原サイクル」。販売台数減少や価格競争など、現在直面している経営課題に対するアイ

デアを具現化する必要があった。そのため、経営革新申請に取り組んではどうかと助言し、プログラムに参加していただくことになった。

今回は①腹を割って話すことができる会員との信頼関係

②相手の本音を引き出すコミュニケーション技術の重要性を再認識することができた。経営革新計画の承認はゴールではない。

今後いかに事業主が取り組んでいくか、支援機関がいかにサポートしていくかが重要となってくる。今後も真摯に会員企業と向かい合い、的確な支援をしていきたい。

平成25年度の人事異動について

平成25年4月1日付

〈異動〉

商工会名	異動元 氏名	職階等	異動先商工会名
加東市	後藤泰樹	係長	多可町
	馬場順子	主任	県連合会
多可町	北島篤	係長	篠山市
姫路市	古河恵	主任	神河町
神河町	井上隆弘	事務局長	福崎町
	佐古典子	係長	姫路市
福崎町	木村真一	課長	県連合会
上郡町	丸山憲一	主任	佐用町
佐用町	小谷裕尚	次長	宍粟市
	石原伸吾	支所長	宍粟市
	川畑雅義	主任	上郡町
宍粟市	立花秀則	支所長	佐用町
	阿曾義盛	係長	たつの市
篠山市	森本和浩	課長	三田市
	米本智彦	係長	三田市
淡路市	土井章史	係長	県連合会
南あわじ市	福島康晃	係長	県連合会
県連合会	中西裕樹	主任	播磨町
	北島若奈	主事	加東市
	寺本勝哉	主事	加東市

〈出向〉

商工会名	現 所 属 氏 名	職階等	出向先商工会名
芦屋市	福本敏之	経営指導員	県連合会
県連合会	赤松政彦	主査	芦屋市

〈新規採用〉

商工会名	配属先 氏名	職階等	備 考
三田市	山本哲己	事務局長	嘱託
稻美町	岸本一幸	事務局長	嘱託
県連合会	高木美也子	補助員	
福崎町	藤岡泰造	補助員	嘱託

新規職員採用のお知らせ

●氏名：高木 美也子

この度平成25年度から正規採用いただき、県連合会組織支援課に配属となりました高木美也子と申します。



新しい仕事、新しい発見ばかりで諸先輩方に指導いただきながら、日々奮闘しております。

日々の業務の先に会員様がいらっしゃる事を忘れずに、また戦力として一日でも早く活躍できるよう邁進してまいりたいと思います。

ご指導・ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

今後、皆様とお会いできる機会を楽しみにしております。



始めませんか～新しい環境貢献～

ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施業委託先の紹介

◆お問い合わせは◆

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通5-5-18 神林葉会館内

TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071

URL: <http://www.hyogo-green.net/>

兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課

〒650-8567

神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階

TEL 078-362-3144 / FAX 078-362-3954

一中小企業と共に50年一

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階

☎ 078-361-8083 Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp